

活動報告書

事業名／講座名	講座①夏祭り in 愛仙
日時	令和 6 年 8 月 3 日（土） 17 時 30 分 から 20 時まで
場所	社会福祉法人 秋田ふくしハートネット 指定障がい福祉サービス事業所 愛仙 駐車場
参加人数（内訳）	一般来場者、事業所利用者様とそのご家族様 400 名以上 職員 42 名 ボランティア 12 名
講師	【オープニング】創作和太鼓桂組 【招待演芸】大木彩乃、平かずみ & SwingCherries、飾山囃子秋月会
実施状況	○招待演芸…歌や演奏、郷土芸能の披露に合わせ、多くの利用者様が飛び入りでステージ前に立って踊り、ステージも会場も盛り上がりを見せ、交流を図ることができていた。 ○ワークショップ…学生ボランティア 1 名と、木工作業を担当している利用者様 1 名が職員と一緒にお客様に作り方の説明を行った。子どもから大人まで 23 名の方々が木工作業を体験された。 ○自主製品販売…利用者様 2 名と職員で来場された方々に製品の説明や接客を行い、地域の皆様に愛仙の活動や製品を知ってもらう機会になった。 ○キッズコーナー…利用者様 1 名と職員が、訪れた多くの子どもたちに各コーナーの説明を行い、楽しく交流することができた。 ○模擬店…モデル事業連絡会委員 4 名と、西明寺婦人会 3 名の方々にもご協力いただいた。売れ行きが良く、売り切れの商品が来場者に伝わるよう表示した。 ○トイレの表示…トイレが分かりやすいように床にテープを貼って場所を示し、周囲にも表示を増やした。    
成果○と課題●	○地域の皆様にも定着しており、今年度も多くの方々が「夏祭り in 愛仙」に来てくださった。愛仙の利用者様で、当日足がなくて会場に来られない方々には事前に希望をとり、初めて送迎を行った。 ○蛍光ブレスレットと、愛仙・愛仙の華のインスタの QR コードを印刷した団扇を来場者に配布し、PR と夏祭りの雰囲気作りに役立った。 ○利用者様がボランティアの方々や職員と一緒に、来場された地域の皆様へ接客や交流を行った。事業所の取組や障害について地域の皆様に知っていただく機会となった。 ●この規模の夏祭りを今後も維持しながら地域との交流を深めていくことが課題である。

活動報告書

事業名／講座名	講座② 愛仙の「みんなでやろう！ドリームチャレンジ Day へ Go！」
日時	令和6年10月26日(土) 9時50分から11時30分まで
場所	社会福祉法人 秋田ふくしハートネット 指定障がい福祉サービス事業所 愛仙の華 食堂ホール
参加人数(内訳)	愛仙利用者様 7 名、愛仙の華利用者様 4 名、にこにこども園園児 3 名 大曲支援学校せんぼく校小学部 4 年生 1 名、角館こども園園児 1 名、保護者 11 名 秋田県生涯学習センター 2 名、秋田県教育庁生涯学習課 1 名、職員 8 名 計 38 名
講師	米田和正、竹中真
実施状況	9時30頃より受付。9 時40分頃には参加者が集まった為、オリエンテーション後、9時50分から11時30分まで 活動①手遊び(お弁当箱に～等を歌いながら講師の動きに合わせて手を動かした) 活動②歌唱(童謡「里の秋」やジブリアニメ主題歌「さんぽ」を歌詞を見ながら歌唱) 活動③楽器演奏(ピアノ演奏に合わせてレインスティックを鳴らして演奏した) 活動④鑑賞(クラリネット演奏とピアノ演奏を聴く) 活動⑤パラバルーンを使用した音楽遊び(音楽に合わせてパラバルーンを揺らす) 活動⑥音楽に合わせて体を動かす(ホール全体に広がり、「アヒルのダンス」を踊る) 記念品贈呈後、記念撮影し、解散。
成果○と課題●	○自らの意思表示が難しく、悩んでいる愛仙の利用者様が「私が書いた詩に音楽を付けてくれますか？」と笑顔で話し、意思表示をしている姿があった。また、参加して下さった園児たちにも好評だったようで、元気な歌声と笑顔が見られる時間となっていた。 ●一般参加者を募集するため仙北市の広報や LINE 等で周知を図ることは出来たものの、イベントの多い時期(仙北市の産業祭等)で、対象のこども園園児等の参加が少なかった。より多くの方に参加してもらえるよう開催の時期や内容の検討をすることが必要と感じた。